



## 中小企業景況調査の概要

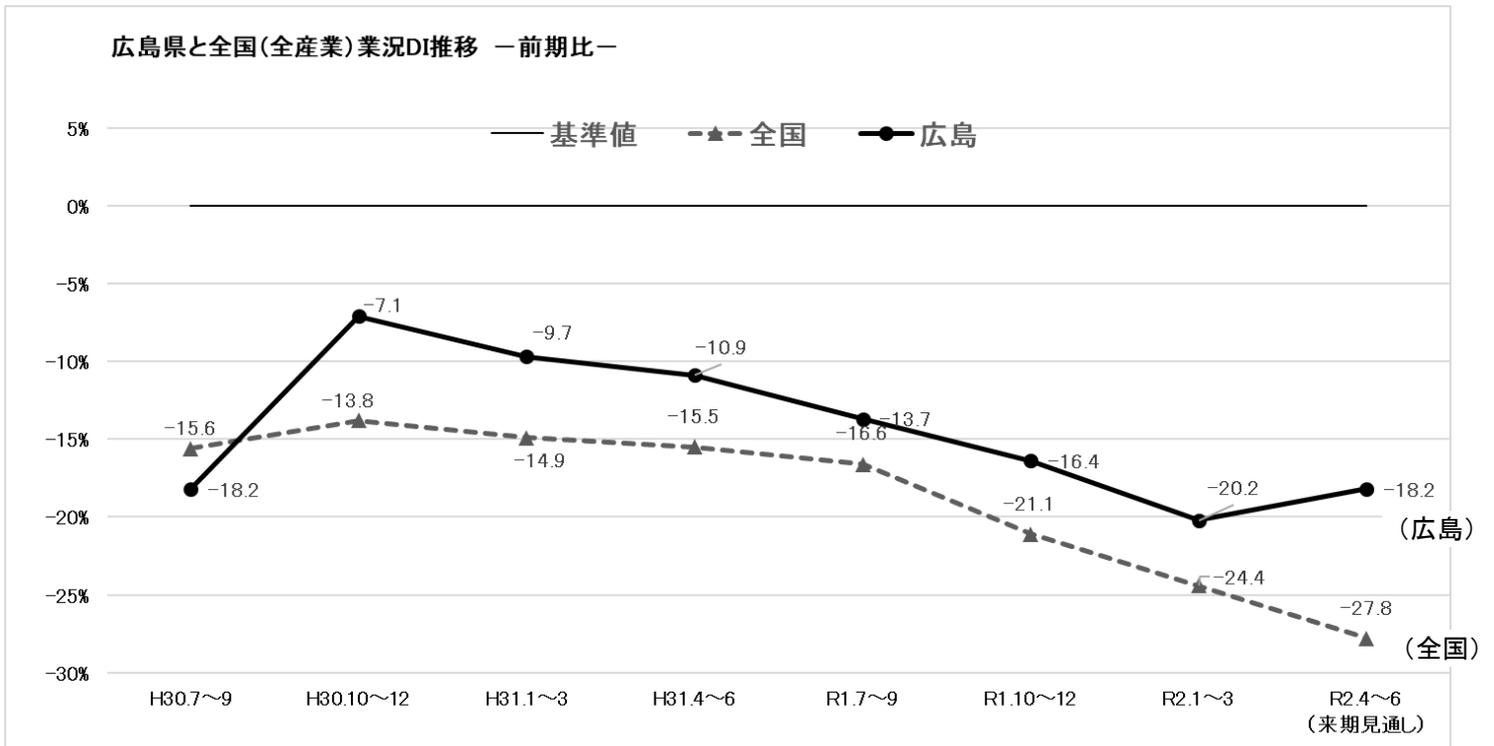
1. 調査趣旨	<p>この調査は、中小企業の景気動向を総合的に把握するため、全国の商工会、商工会議所、中小企業団体中央会の3団体の管内の企業約19,000企業を対象に四半期ごとに実施されている。調査結果は(独)中小企業基盤整備機構で集約・分析・公表され、中小企業施策立案等の基礎資料として活かされるものである。</p> <p>広島県商工会連合会では、県内商工会地域の最新景況データを解析、報告書に取りまとめ、商工会の経営改善普及事業が効果的に実施されることを目的として、この報告書を公表する。</p>
2. 調査対象	<p>(対象地区) 県内15商工会</p> <p>祇園町、江田島市、呉広域、佐伯、安芸太田町、安芸津町、広島県央、三原臨空、大崎上島町、沼隈内海、福山北、福山あしな、上下町、三次広域、備北</p> <p>(対象企業) 225社</p> <p>製造業49 建設業40 小売業70 サービス業66</p>
3. 調査方法	経営指導員による訪問面接調査
4. 調査期間	令和2年1～3月期実績、及び令和2年4～6月期の見通し
5. 調査時点	令和2年3月1日

6. DIとは
- Diffusion Index (景気動向指数)の略。
- 各調査項目について、増加(好転)企業割合から、減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示し、「変化の動向」を把握する。
- DIがプラス(+)なら.....強気(楽観)、上昇機運
- DIがマイナス(-)なら.....弱気(悲観)、低下機運
- 例えば、売上高で回答割合が、増加50%、不変30%、減少20%の場合、 $DI = 50 - 20 = 30$ となり、全体としての経営者の強気(楽観)度合いを表している。
7. 表記基準
- 変化の動向(改善、悪化など)を解説する場合に用いた表記基準は次のとおり。
- 「横ばい」 0を基準に±2ポイント未満
- 「小幅、やや」 0を基準に±2～8ポイント未満
- 「大幅、大きく」 0を基準に±8ポイント以上
8. その他
- この集計値は、全国商工会連合会が提供する全国集計を基に、広島県商工会連合会の集計書式に収めて編集したものである。
- (参考) 全国及び広島県内の経済動向について、その他機関による調査資料
- (独)中小企業基盤整備機構 (3団体を含む全国版報告書)  
<http://www.smrj.go.jp/keiei/chosa/keikyo/>
  - 中国財務局 (中国地方の経済情勢)  
<http://chugoku.mof.go.jp/chousatoukei/keichou/keizaijyousei/jouseishinchaku.html>
  - 広島県 (広島県経済の動向)  
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/67/1244079054510.html>

## 産業全体の概況

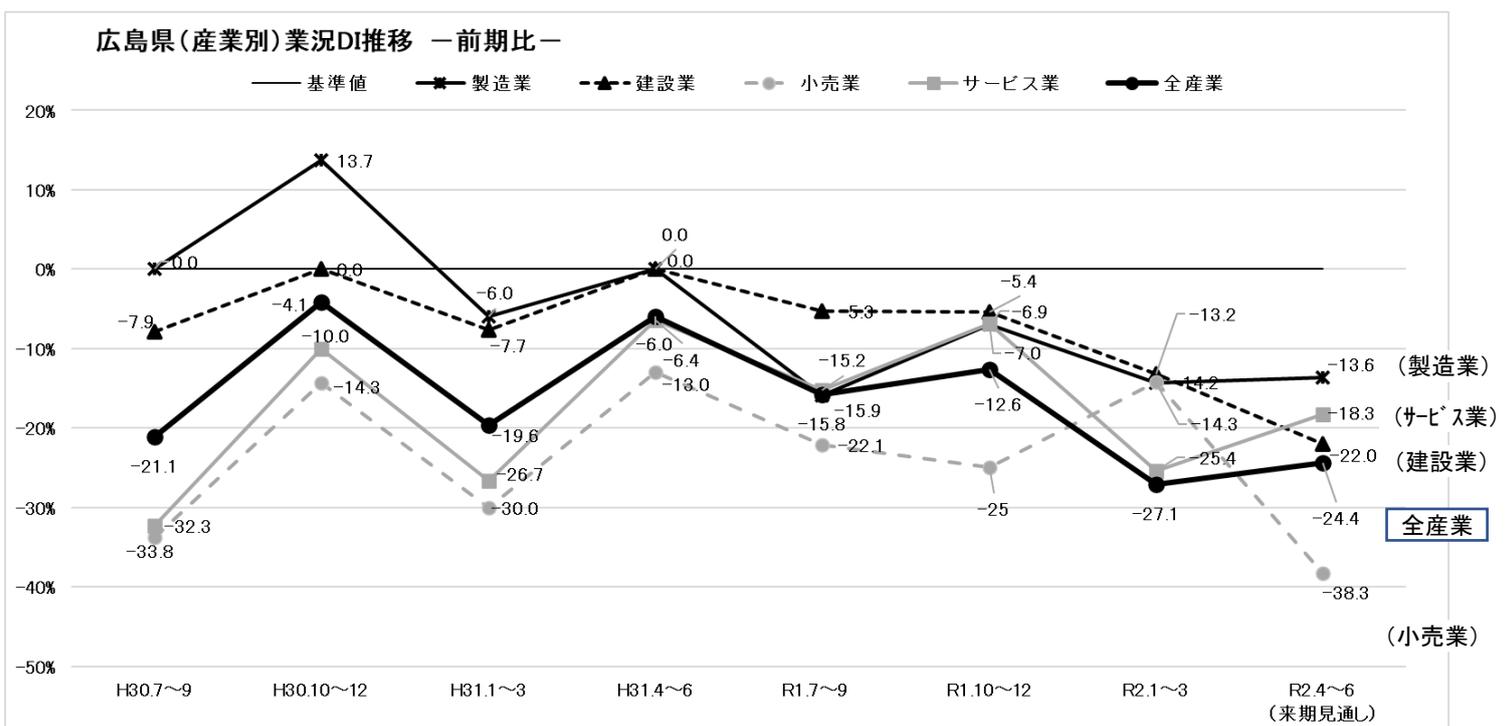
### 1. 広島県と全国(全産業) ※商工会、商工会議所、中小企業団体中央会の3団体データを含む。

広島県全産業の今期業況DIは、前期-16.4から-20.2(前期差3.8ポイント)と小幅に低下、全国DI同様に5期連続で悪化傾向に。来期は3/1調査時点では、広島県(3団体を含むDI)は上昇の見通しであった。



### 2. 広島県(産業別) ※商工会地域のみ

広島県産業別では、小売業のみ上昇傾向を示すものの、その他3業種で下降傾向に。来期は、3/1調査時点では、製造業で横ばい、全産業DI(商工会地域のみ)は上昇見通しであった。



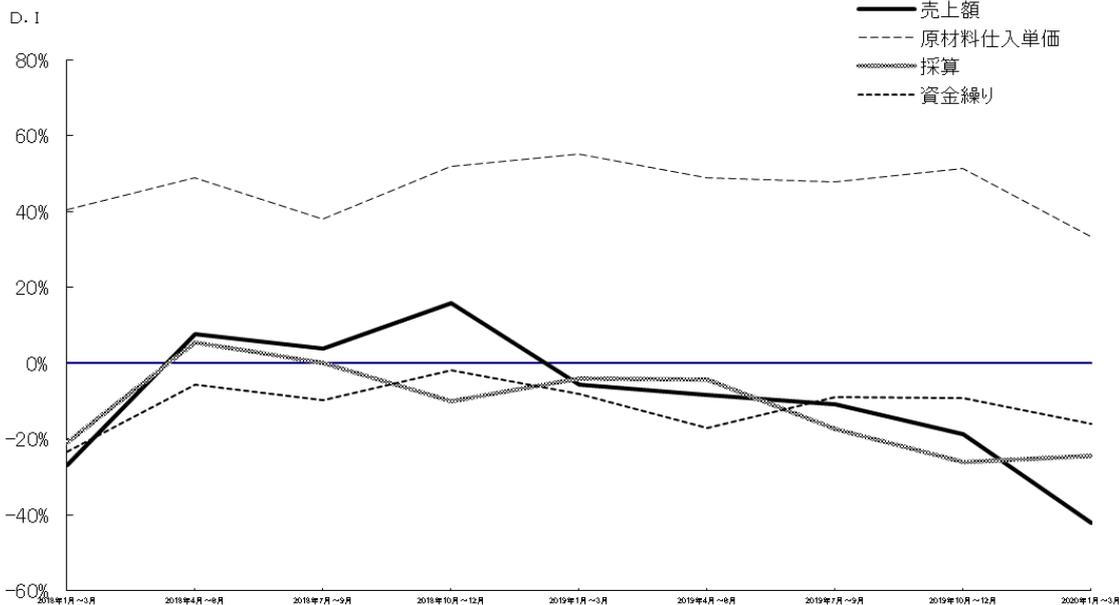
製造業（商工会地域）

1.主要景況項目の推移 -前年同期比-

主要項目	製造業 DI		（前期）		（今期）		（来期見通し）	
	R1.10~12	R2.1~3	前期との比較	R2.4~6	今期との比較			
売上額	-18.6	-42.2	↓	-34.0	↑			
原材料仕入単価	51.2	33.3	↓	25.0	↓			
採算	-26.2	-24.4	→	-18.1	↑			
資金繰り	-9.3	-15.9	↓	-23.2	↓			

広島 製造業

主要景況項目の推移 - 前年同期比 -



..... 企業のコメント .....

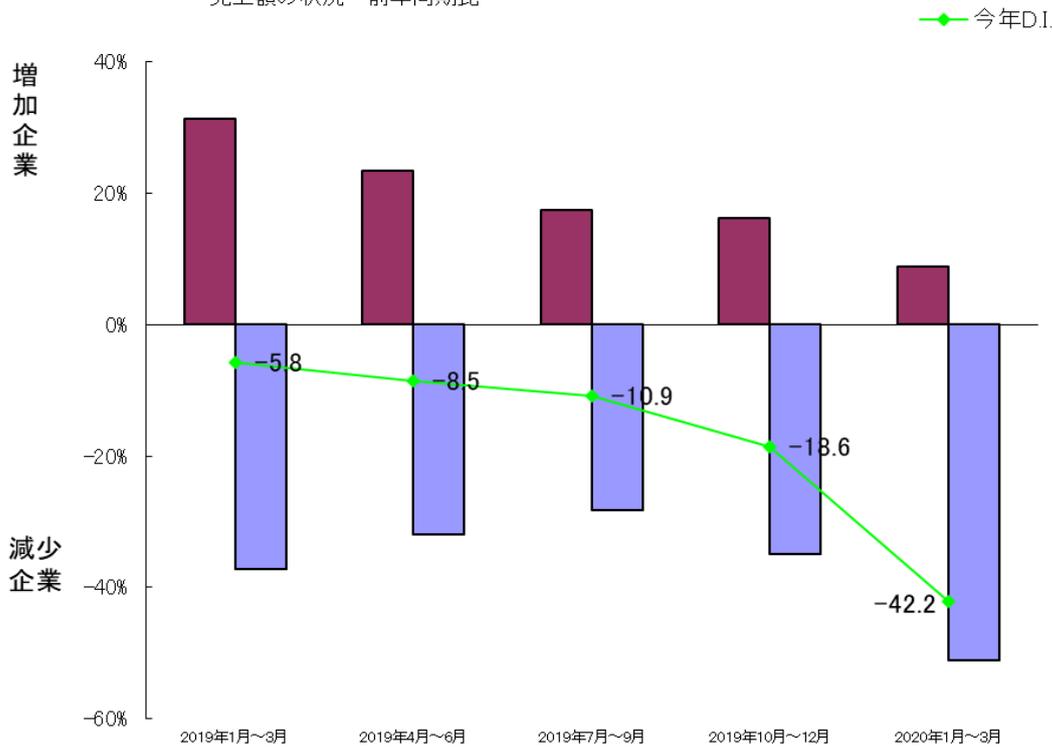
- ・取引先の日鉄日新製鋼さんの相次ぐ高炉の休止に伴い、受注も減少し売上は低下。新規取引先もあるが、安定した受注があるかは不透明と言える。（その他の鉄鋼業）
- ・業務縮小の影響はあるが、1月の半分を休業したことと、コロナの影響もあるのか、2月の飲食店の受注の減少が目立つ。4月から表示のルール改正でラベル等の刷新で投資金額が大きい。売上が減少するのは暫く続きそう。（調味料製造業）
- ・今回のコロナウイルスに関連し中国内外での生産で部品未入荷の為、生産ストップの可能性が懸念されます。今後の動向により景況の明暗が出てくると思います。（金属素形材製品製造業）
- ・今期は開発案件が少なく厳しい年となった。特に年末から年始かけ売上が少なかった。春先から徐々に始めるので期待している。今年、小型成型機を増設したので、成型や材料トライの需要を見込んでいる。（その他の生産用機械・同部分品製造業）
- ・業界全体の不況感に加えて新型コロナウイルスの問題に対し行われる自粛や制限で、より消費が減少するため今後の影響が心配である。（紙製品製造業）

製造業（商工会地域）

2.売上額（加工額） -前年同期比-

広島 製造業

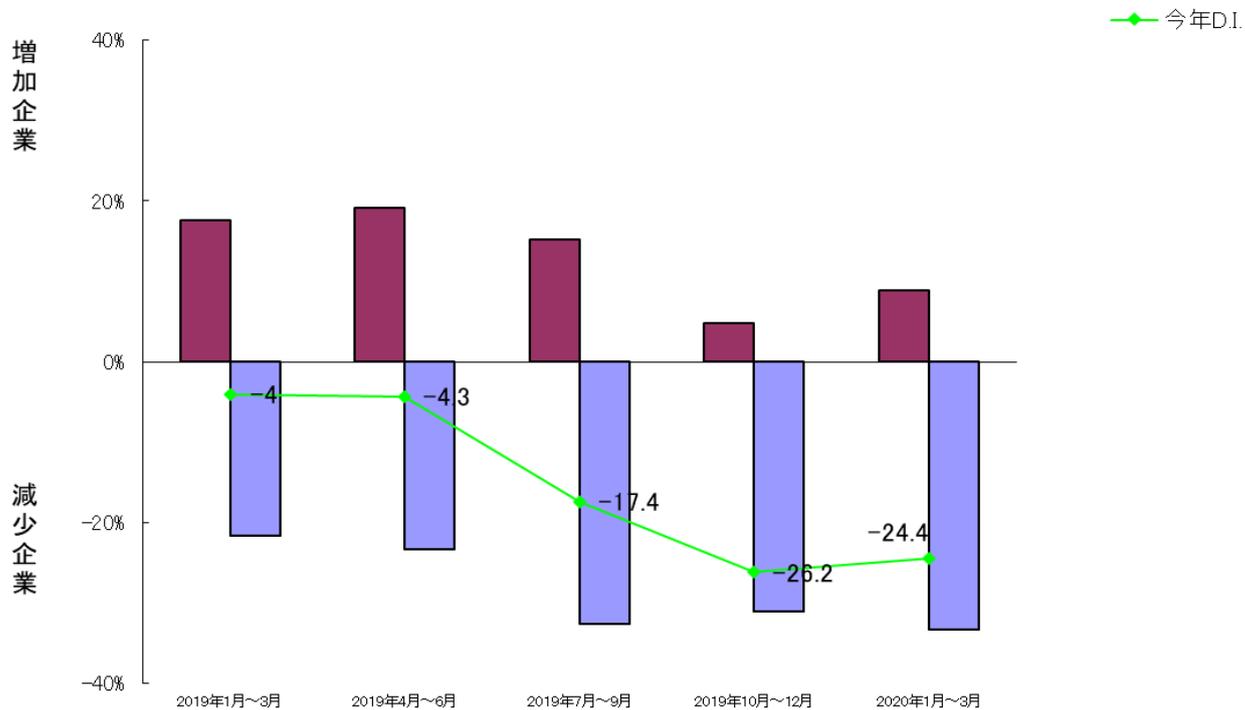
売上額の状況 - 前年同期比 -



3.採算（経常利益） -前年同期比-

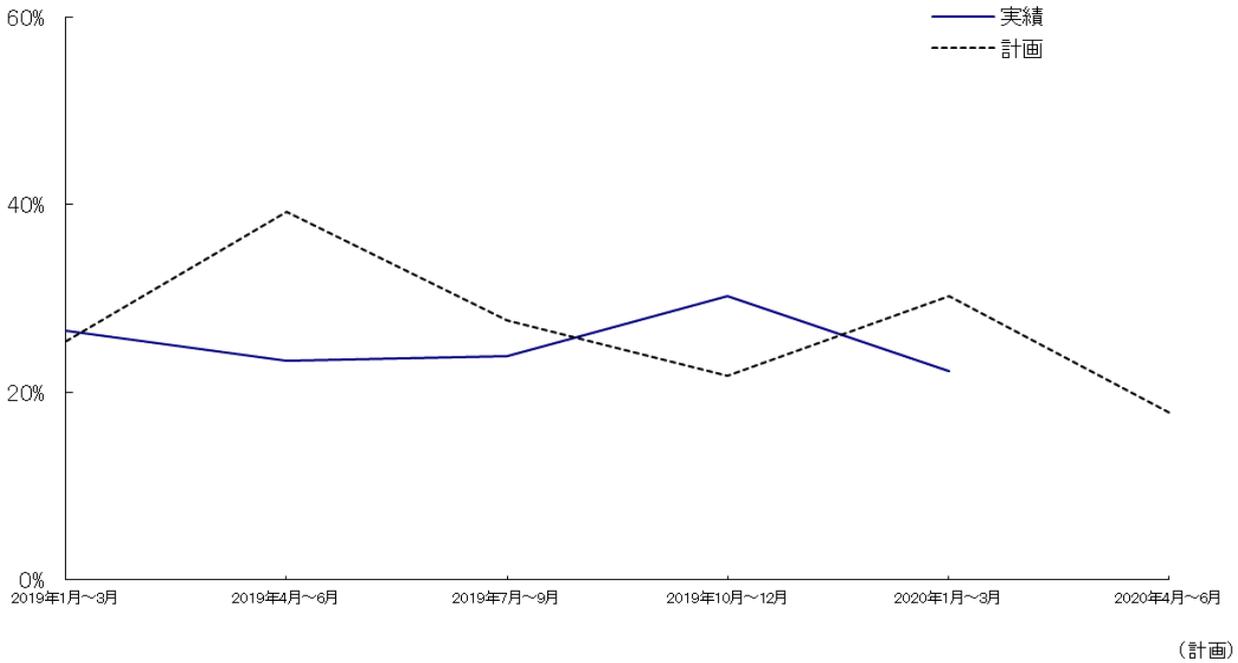
広島 製造業

採算の状況 - 前年同期比 -



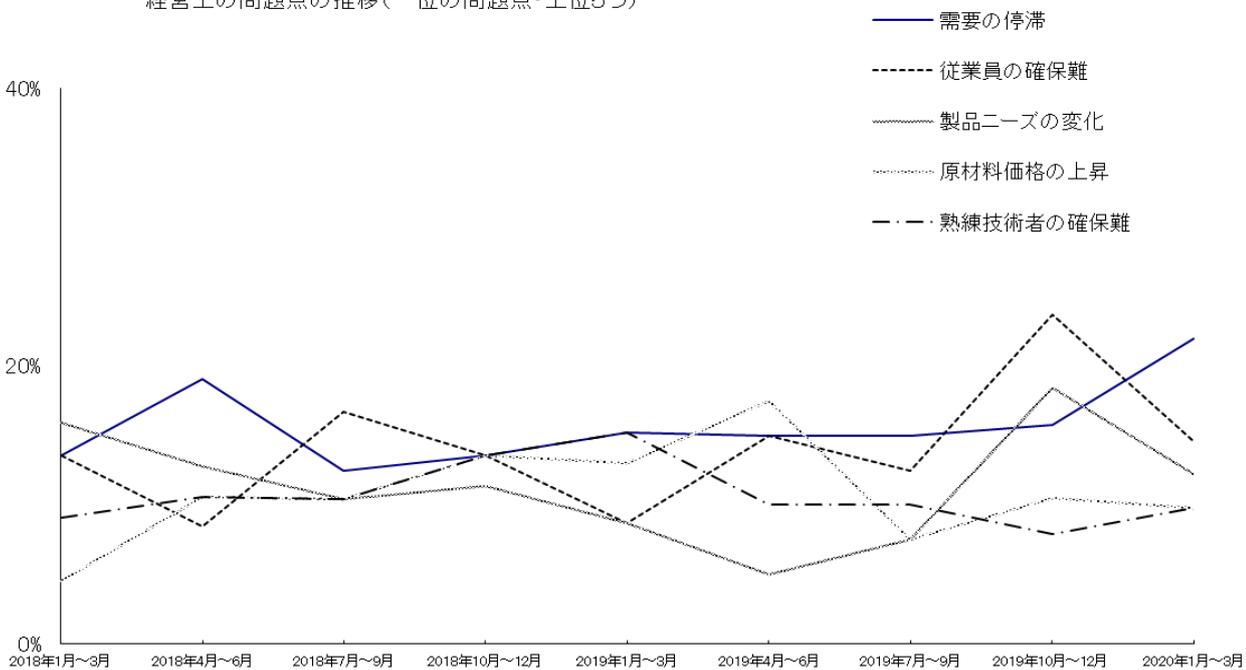
## 4.設備投資の状況

広島 製造業  
設備投資の状況



## 5.経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）

広島 製造業  
経営上の問題点の推移（1位の問題点・上位5つ）



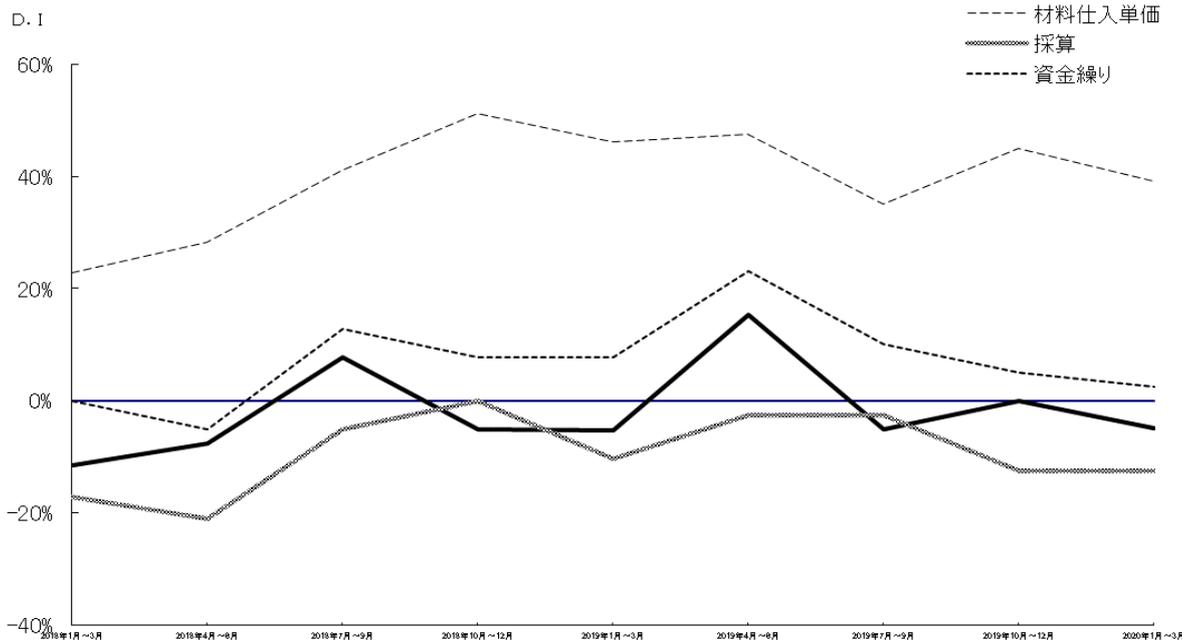
## 建設業（商工会地域）

### 1.主要景況項目の推移 -前年同期比-

建設業 DI	（前期）		（今期）		（来期見通し）	
	主要項目	R1.10～12	R2.1～3	前期との比較	R2.4～6	今期との比較
売上額 （完成工事額）	0.0	-4.9	↓	-24.4	↓	
材料仕入単価	45.0	39.1	↓	26.8	↓	
採算	-12.5	-12.5	→	-12.2	→	
資金繰り	5.0	2.5	↓	-7.3	↓	

### 広島 建設業

主要景況項目の推移 - 前年同期比 -



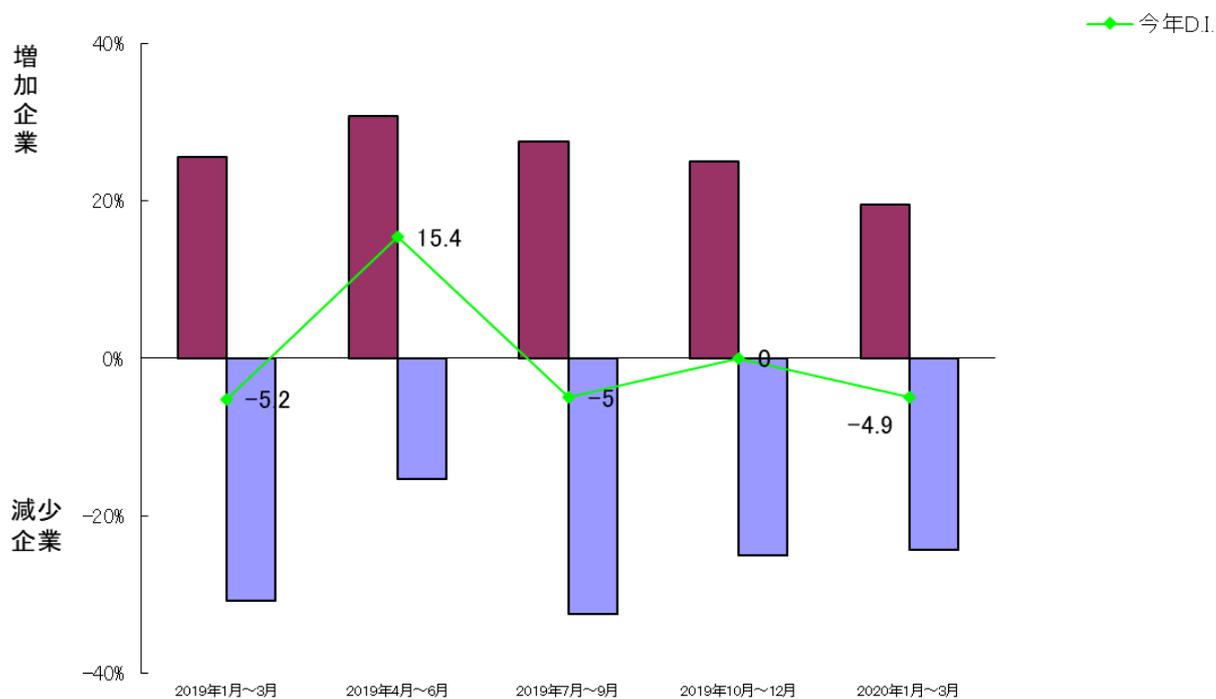
#### ..... 企業のコメント .....

- ・ 災害復旧の工事は、災害前に工事した業者が請負うため、新規での工事にならないので期待できない。（一般土木建築工事業）
- ・ 材料単価の上昇や人件費の増加などで施工費は上がっているものの請負金額は上げられない。（大工工事業）
- ・ 災害復旧工事の増加により、受注工事は多くあるが、作業従業員の確保が難しく、思うだけの仕事をこなせない。人がいれば今以上の売上ができるのだが・・・。（管工事業（さく井工事業を除く））
- ・ 災害関連工事が落ち着いた状況である。（その他の職別工事業）
- ・ 下請業者の確保が出来ないため、自社物件の着手が遅れ、お客様に迷惑がかかっている。（大工工事業）

2.売上額(完成工事額) -前年同期比-

広島 建設業

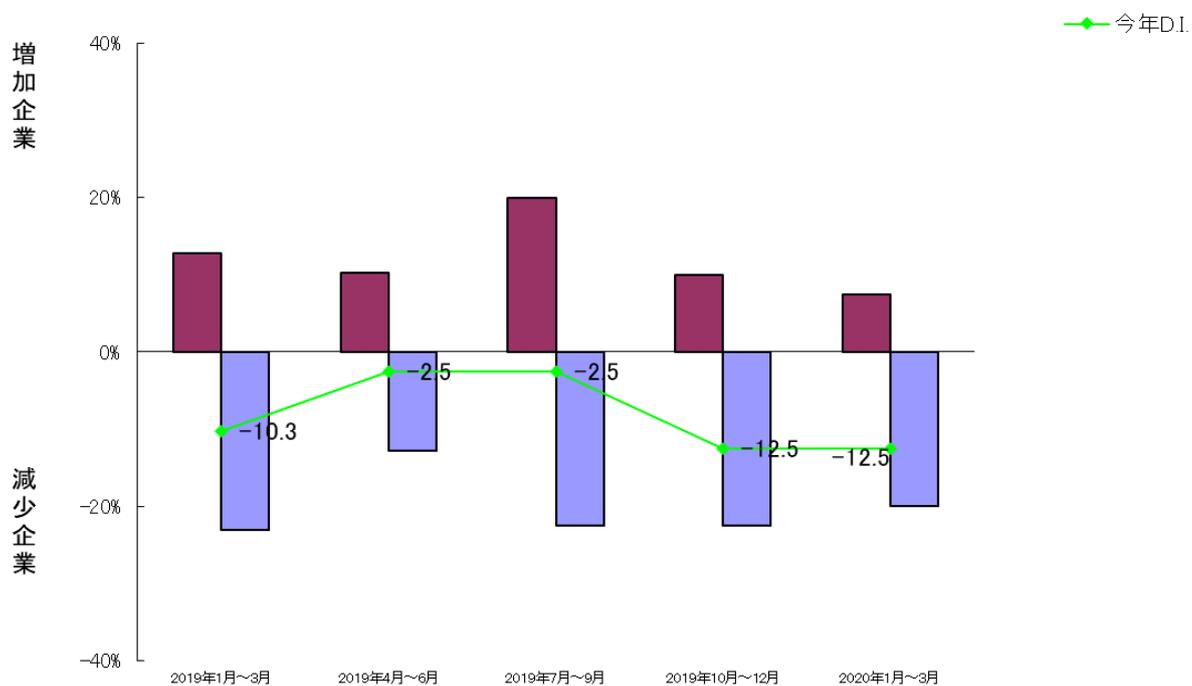
完成工事額の状況 - 前年同期比 -



3.採算(経常利益) -前年同期比-

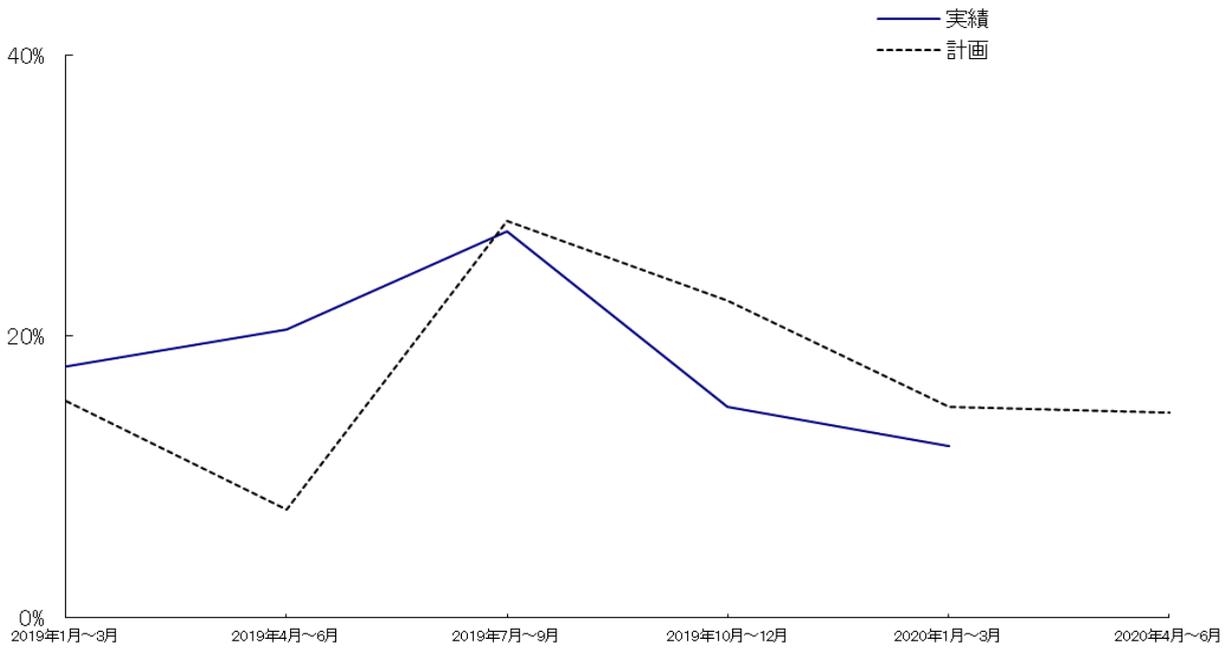
広島 建設業

採算の状況 - 前年同期比 -



### 4.設備投資の状況

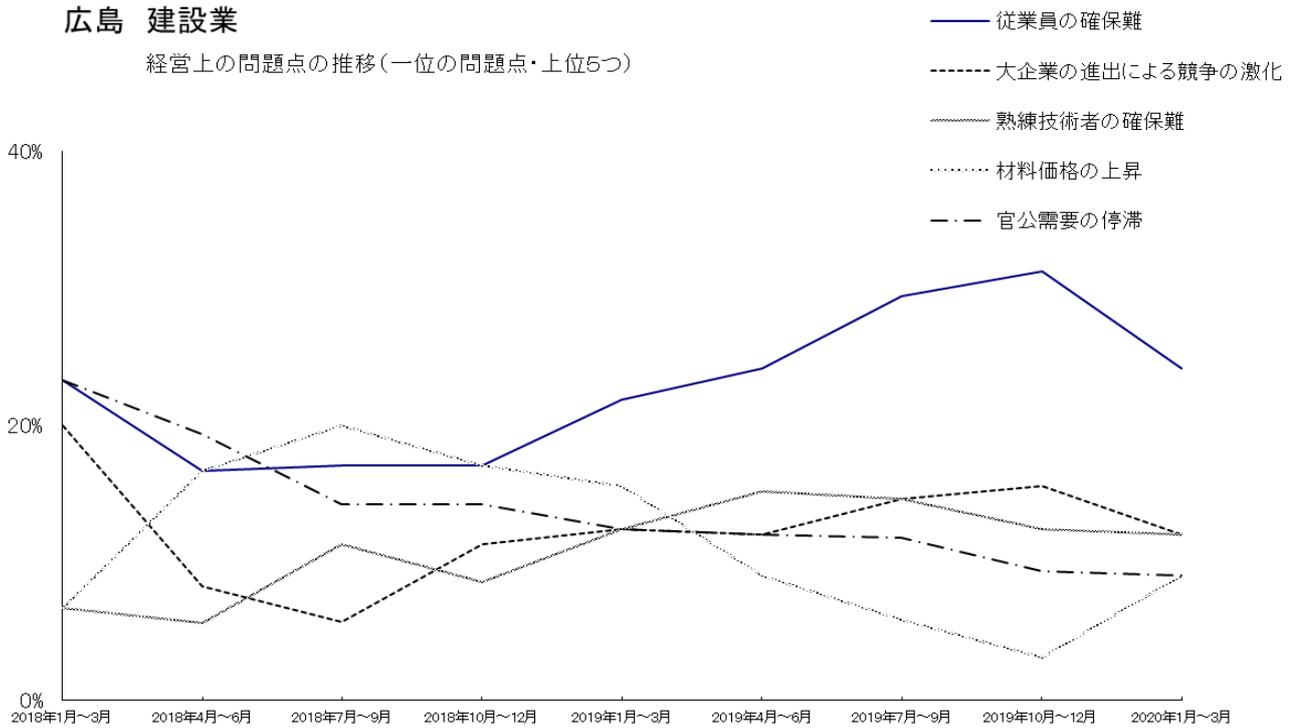
広島 建設業  
設備投資の状況



(計画)

### 5.経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）

広島 建設業  
経営上の問題点の推移（1位の問題点・上位5つの推移）



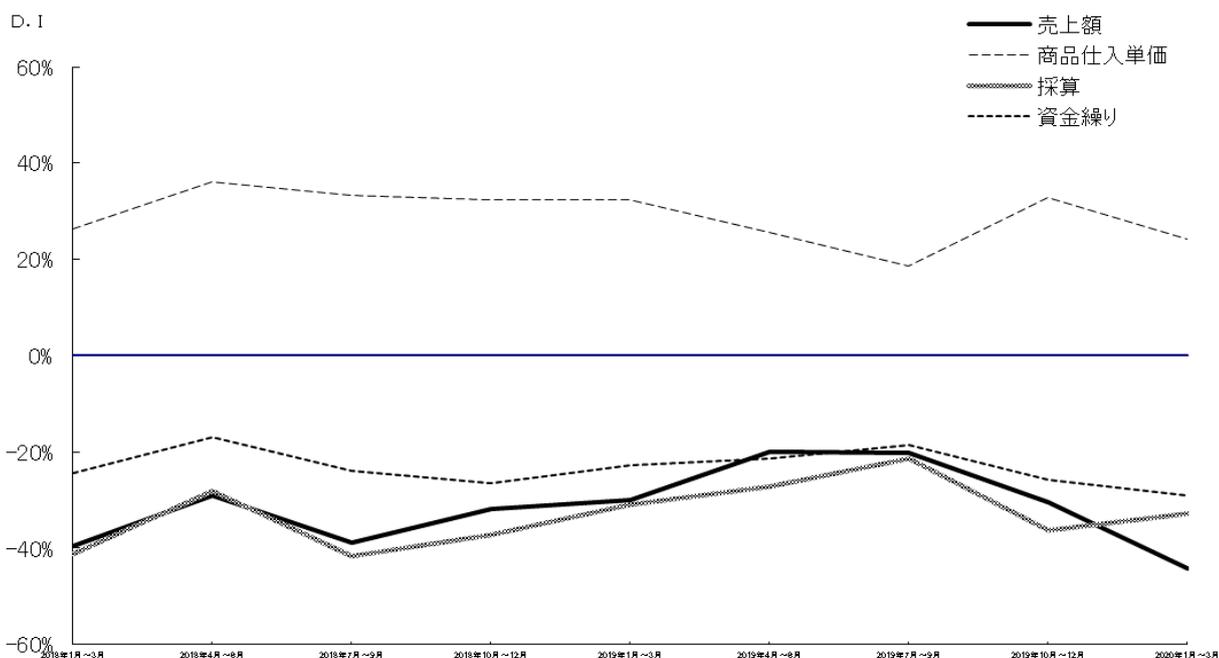
## 小売業（商工会地域）

### 1.主要景況項目の推移 -前年同期比-

小売業 DI	（前期）		（今期）		（来期見通し）	
	主要項目	R1.10~12	R2.1~3	前期との比較	R2.4~6	今期との比較
売上額	-30.4	-44.2	↓	-49.9	↓	
商品仕入単価	-18.6	-12.9	↑	-27.1	↓	
採算	-36.3	-32.9	↑	-37.1	↓	
資金繰り	-25.7	-29.0	↓	-30.9	→	

### 広島 小売業

主要景況項目の推移 - 前年同期比 -



### ..... 企業のコメント .....

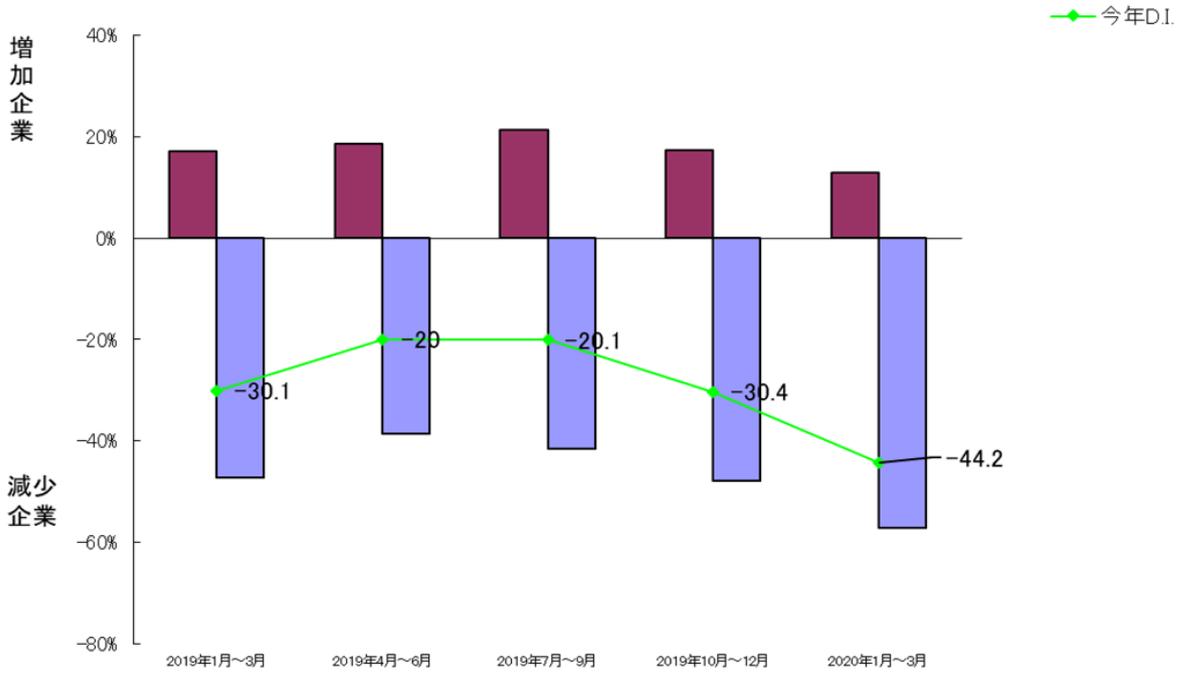
- ・ 業況としては、昨秋から1月まで仕入が上昇し、価格に転嫁出来ず予想より悪化した。ようやく価格も落ち着き、仕入も下がり収益も回復予想。春以降は店頭こそ人員に余裕も出るが、時短をし調整を行う。（燃料小売業）
- ・ 新型コロナウイルスの影響が出始めている。中国生産の商品はやはり多く、納期遅れや生産中止が出始めている。アパレル関係は納期は重要で、春商品が夏に届くようであれば、売上にもかなり影響してくると思われる。（その他の織物・衣服・身の回り品小売業）
- ・ 販売先が公共土木工事を主としている建設業者なので、災害等による公共工事の増加が当社の売上増になっており、代金回収も大幅に良くなっている。この状況が来年度も維持されると思われる。（建築材料小売業）
- ・ 消費税増税、コロナウイルスによるイベントの中止。需要を停滞させる要素しかない。規制の強化によるラベルに表示、HACPなど小売業には手間が増えるばかりで何もいいことがない。（その他の飲食料品小売業）
- ・ 町内の土木建築工事の完了が続き、来島者の需要が落ちてきた。禁煙、嫌煙が進み、喫煙層が老化し需要減が加速しており、営業が立ち行かなくなるゾーンへ入りつつある。（たばこ・喫煙具専門小売業）

## 小売業（商工会地域）

### 2.売上額 -前年同期比-

#### 広島 小売業

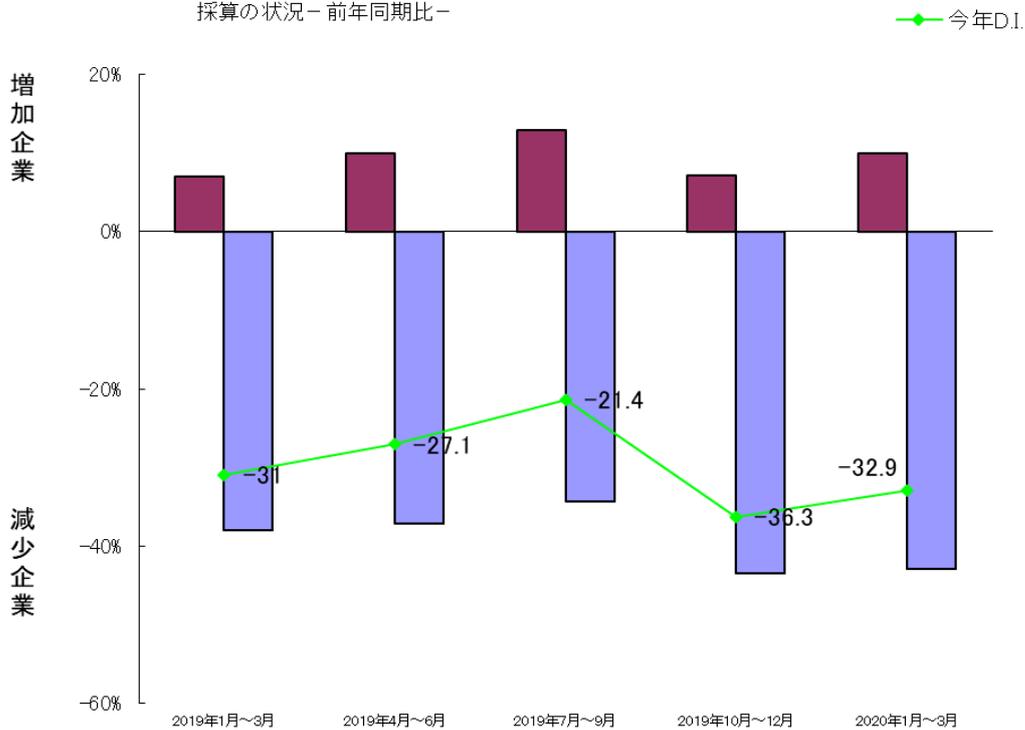
売上額の状況 - 前年同期比 -



### 3.採算(経常利益) -前年同期比-

#### 広島 小売業

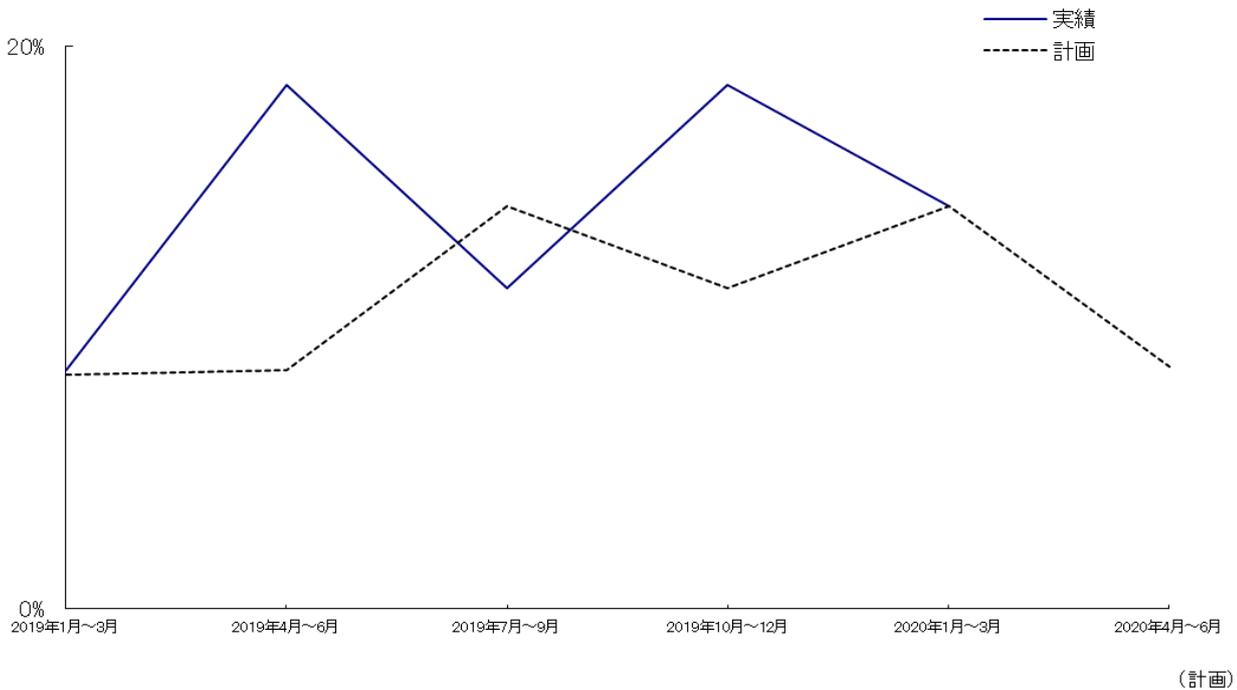
採算の状況 - 前年同期比 -



## 小売業（商工会地域）

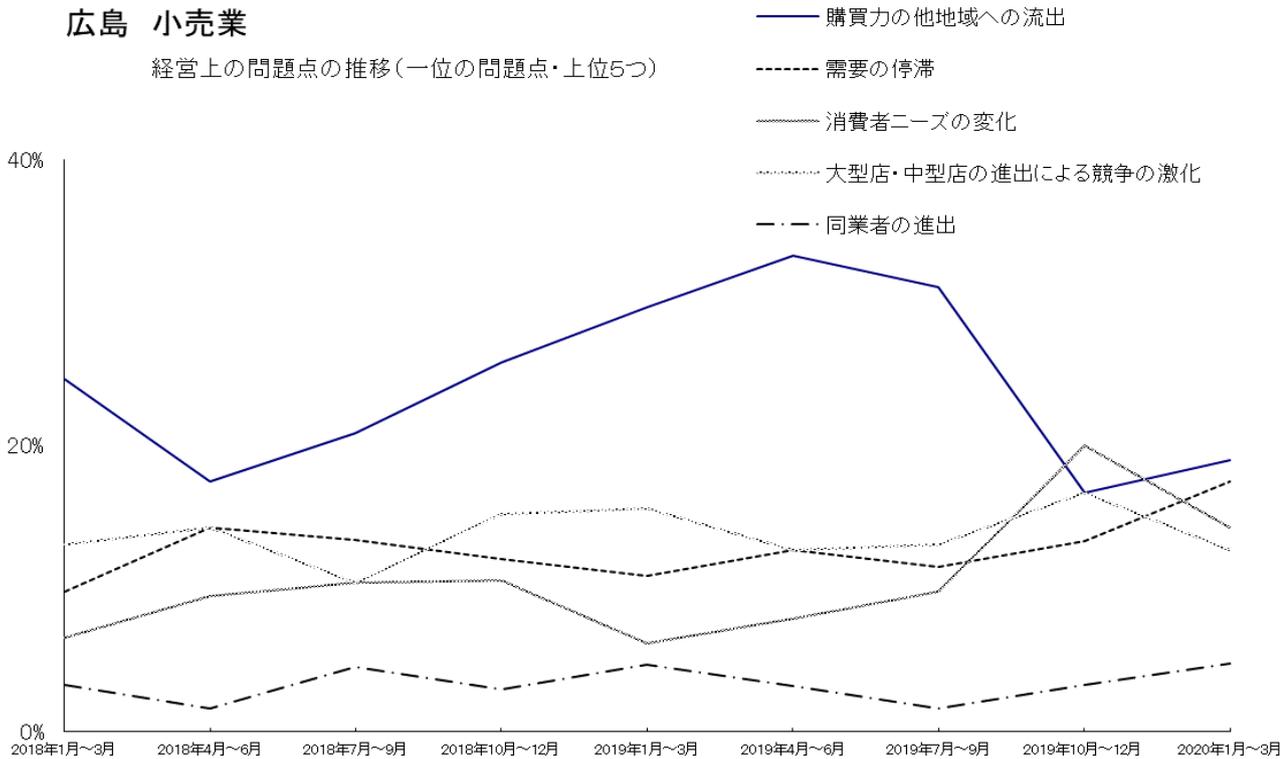
### 4.設備投資の状況

広島 小売業  
設備投資の状況



### 5.経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）

広島 小売業  
経営上の問題点の推移（一位の問題点・上位5つの推移）



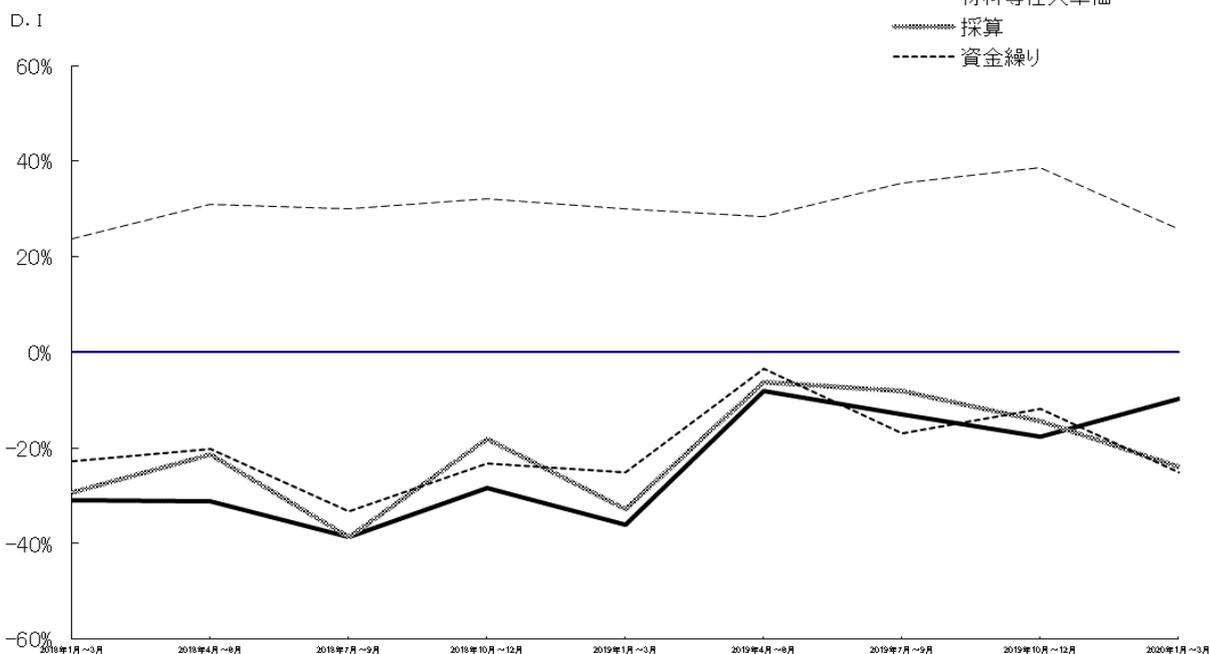
## サービス業（商工会地域）

### 1.主要景況項目の推移 -前年同期比-

主要項目	サービス業 DI		（前期）		（今期）		（来期見通し）	
	R1.10~12	R2.1~3	前期との比較	R2.4~6	今期との比較			
売上額	-17.7	-9.6	↗	-20.0	↘			
材料等仕入単価	38.7	25.8	↘	22.5	↘			
採算	-14.3	-23.9	↘	-25.4	→			
資金繰り	-11.7	-25.0	↘	-27.6	↘			

### 広島 サービス業

主要景況項目の推移 - 前年同期比 -



#### ..... 企業のコメント .....

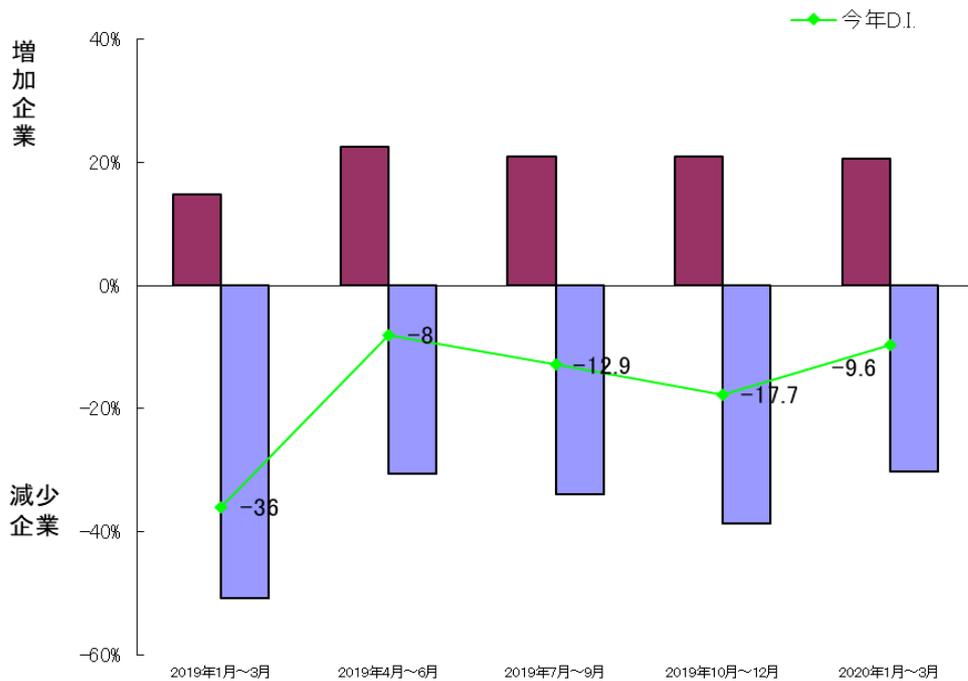
- ・ コロナウイルスの影響が大きく、百人規模の団体キャンセルが続いている。同様にエージェントの集客が困難を極めている。（旅館、ホテル）
- ・ 船員不足により、大幅な人件費の上昇が見込まれる。オリンピック後の景気がどうなるか不透明なので、このタイミングでの設備投資計画は難しいと思われる。（沿海海運業）
- ・ パート従業員の確保難でお客様に良いサービスの提供が出来ない。（日本料理店）
- ・ 1月までは前年度と同様ではあるが、コロナウイルスの影響で、ほぼキャンセルとなるため3月の業況は悪化が見通せる。3月以降も見通しは悪く、未だかつてない厳しい状態となると考えられます。（一般乗用旅客自動車運送業）
- ・ 開業1年目で付き合いで来店してくれた人が多かった。2年目で認知度も上がり、TV、メディアでも取り上げてもらったので、新規客の獲得に力を入れたい。（理容業）

サービス業（商工会地域）

2.売上額(加工額) -前年同期比-

広島 サービス業

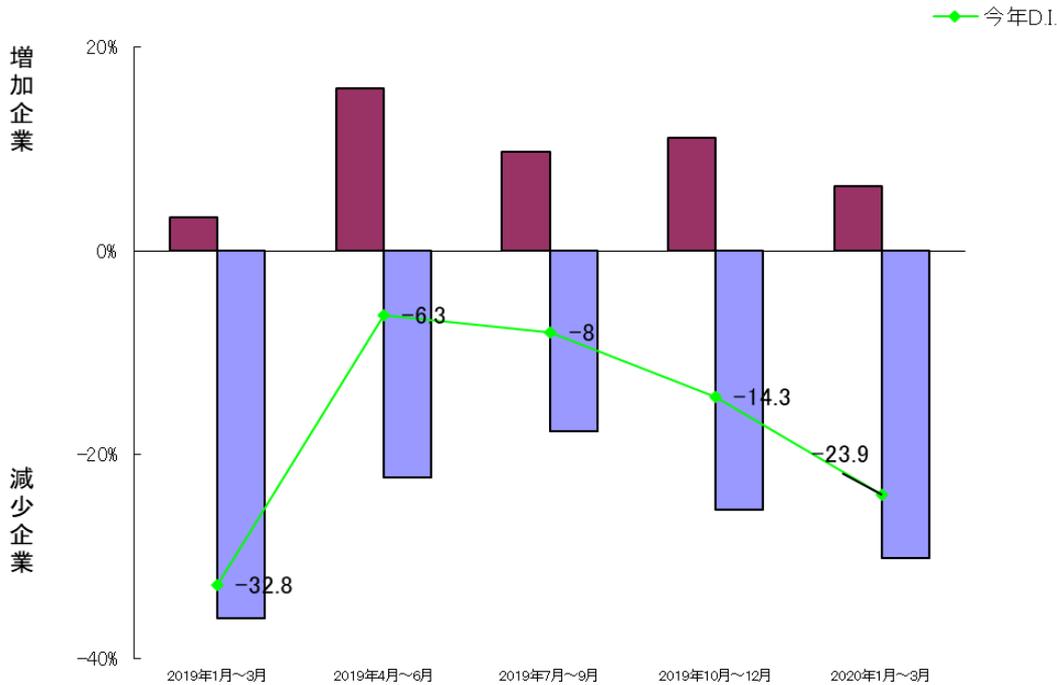
売上額の状況-前年同期比-



3.採算(経常利益) -前年同期比-

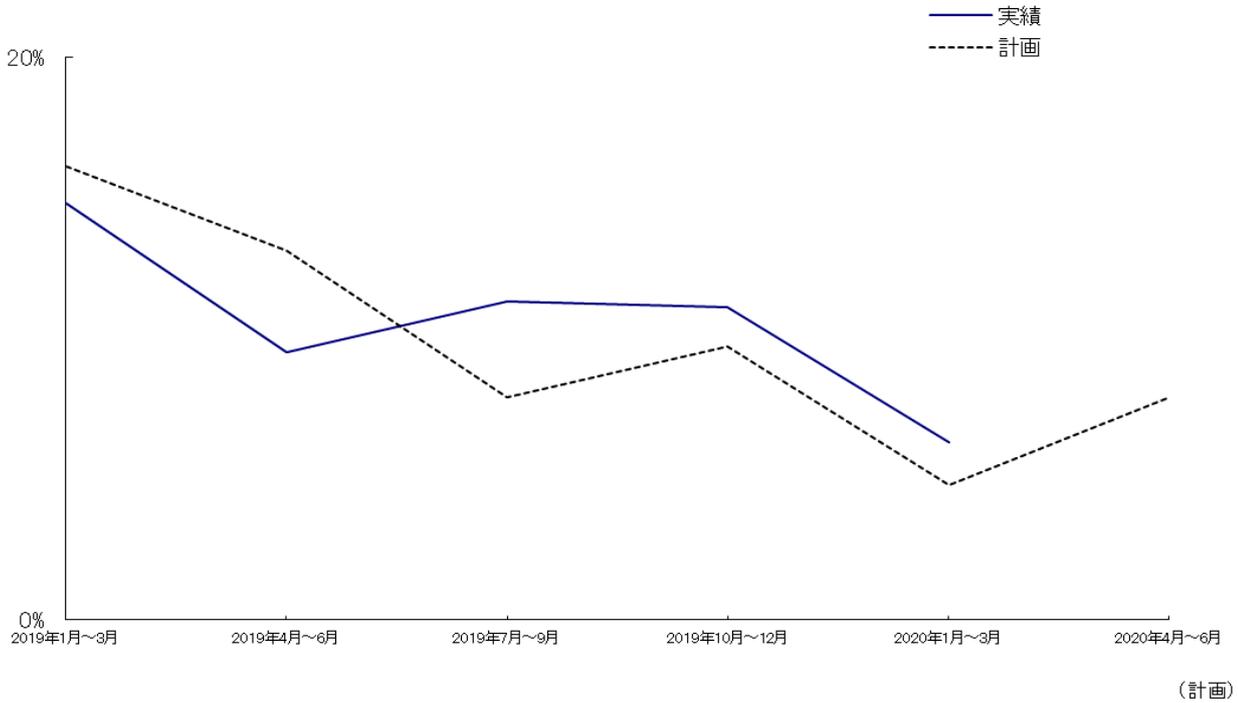
広島 サービス業

採算の状況-前年同期比-



#### 4.設備投資の状況

広島 サービス業  
設備投資の状況



#### 5.経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）

広島 サービス業  
経営上の問題点の推移（1位の問題点・上位5つ）

